

議会報告会 報告書

No 1

開催日	平成 23年 8月 2日 19:00 ~ 20:30		
開催場所	いきいき国分交流センター	参加人数	16人
出席議員 (2班)	細山田 為重、仮屋 国治、徳田 拓志、西村 新一郎、前島 広紀、 厚地 覺、常盤 信一		
役割分担	班長 (細山田 為重)		副班長 (仮屋 国治)
	委員会報告者	総務常任委員会	(徳田 拓志)
		環境福祉常任委員会	(常盤 信一)
		産業教育常任委員会	(前島 広紀)
		建設水道常任委員会	(厚地 覺)
		予算常任委員会	(仮屋 国治)
記録 (常盤 信一)			
議会報告 に対する意見等	<p>・資料に議案の提出された日、審査した経過と日程、陳情の提出日及び審査した経過と日程、継続審査の審査日程等の記載をしてほしい、流れが理解できない。</p>		
意見交換会での 主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)</p> <p>◆上記の「議会報告に対する意見等」に ⇒説明はさせていただいたが、資料不足等がありますので、検討してみたいと思う。</p> <p>◆東日本大震災の義援金のお礼の文章が届いたが、義援金は住民及び自治会加入者が協力しているので、自治会長だけに届いた社会福祉協議会のやり方はおかしいのでは。 ⇒以前、募金等は、執行部としては強制ではないという説明をした。他の自治会長に「このような文書の取り扱いはどうされていますか」と問いかけると、「特に回覧はせずに総会時に報告しようと考えている」という自治会もあった。</p> <p>◆手籠川周辺道路の舗装とタイヨーに行く脳外科の間の側溝が大雨の際、オーバーフローして危ないし、舗装も悪い。交通量も多いので調査してほしい。 ⇒自治会長、館長さんを通じて市の方へ連絡していただければ、所管課が調査する。</p> <p>◆福島原発事故の関わりで、川内原発が事故を起したことを想定しての風向き等を考えるのシュミレーションをする考えはないか。(予算を確保して) 農業関係者や産業</p>		

	<p>関係者及び市民も心配されていると思うが。</p> <p>⇒防災対策は本当に真剣に考えていきたいと思っている。行政に働きかけて、できるような体制を作っていきたいので、議会としても調査研究していきたい。</p>
	<p>◆大規模養豚場建設反対の陳情が継続になっているが、市の方はどのように考えているのか。</p> <p>⇒議会の方は継続審査となっているので、引き続き審査をしていくが、市は、県条例に基づく環境影響調査を実施中であるので、その結果を見守っている状況である。</p>